



日本共産党 大田区議会議員 **大竹辰治**

レポート

発行 **大竹辰治事務所**

控室 大田区蒲田5-13-14
電話 5744-1477

事務所 大田区西蒲田5-9-12
電話 3735-2611

自宅 大田区東矢口3-11-19
電話 3736-4202

E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
http://tootake.jcp-ota.jp/

「意見・要望を
お寄せください。」



成人式（大田体育館）
今年の大田区内の新成人数は
6,374人でした

蒲田東口早朝宣伝 ▶



大田原水協宣伝



党区議団元旦宣伝（池上本門寺）

大規模開発中止で
くらしに希望が持てる区政へ



小学校前交通整理



民団大田支部新年会



蒲田民商新春レセプション



駅頭宣伝

大竹辰治区議の1月の行動

- | | | | |
|-----|------------|-----|--------------|
| 17日 | 池上駅頭早朝宣伝 | 18日 | 大田区労協議会旗開き |
| 16日 | 新蒲田御園町会新年会 | 19日 | 大田地域支部旗開き |
| 16日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 | 20日 | 大田区3医師会新年会 |
| 15日 | ICT委員会 | 21日 | 新蒲田1丁目新年会 |
| 15日 | 健康福祉委員会 | 21日 | 矢口消防団始式 |
| 14日 | 大田区職労旗開き | 21日 | 西蒲田7丁目町会新年会 |
| 14日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 | 21日 | 消防団第2分団新年会 |
| 14日 | 新蒲田御園町会新年会 | 21日 | 消防団第3分団新年会 |
| 14日 | 池上駅頭早朝宣伝 | 21日 | 蒲田西口駅頭早朝宣伝 |
| 13日 | 健康福祉委員会 | 21日 | 羽田空港特別委員会 |
| 13日 | ICT委員会 | 22日 | 大城通り商店街新年会 |
| 13日 | 大田区職労旗開き | 22日 | 大田民商新年会 |
| 13日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 | 22日 | 大田民商新年会 |
| 13日 | 新蒲田御園町会新年会 | 23日 | 大田民商新年会 |
| 13日 | 池上駅頭早朝宣伝 | 23日 | 大田民商新年会 |
| 11日 | 健康福祉委員会 | 23日 | 大田民商新春レセプション |
| 11日 | ICT委員会 | 24日 | 蒲田民商新春レセプション |
| 11日 | 大田区職労旗開き | 24日 | 池上駅頭早朝宣伝 |
| 11日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 | 24日 | 大田育成会新年会 |
| 11日 | 新蒲田御園町会新年会 | 25日 | 蓮沼商店街新年会 |
| 11日 | 池上駅頭早朝宣伝 | 25日 | 西蒲田6丁目町会新年会 |
| 10日 | 健康福祉委員会 | 26日 | 借地借家組合新年会 |
| 10日 | ICT委員会 | 26日 | 民団大田支部新年会 |
| 10日 | 大田区職労旗開き | 26日 | 西蒲田23丁目町会新年会 |
| 10日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 | 27日 | 国交省交渉 |
| 10日 | 新蒲田御園町会新年会 | 27日 | 蒲田西口早朝宣伝 |
| 10日 | 池上駅頭早朝宣伝 | 28日 | 区内視察（空港跡地開発） |
| 9日 | 健康福祉委員会 | 28日 | 東京土建太田支部旗開き |
| 9日 | ICT委員会 | 29日 | スポーツ協会新年懇親会 |
| 9日 | 大田区職労旗開き | 30日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 |
| 9日 | 蓮沼駅頭早朝宣伝 | 30日 | 小林交徳クラブ新年会 |
| 9日 | 新蒲田御園町会新年会 | 31日 | 池上駅頭早朝宣伝 |
| 9日 | 池上駅頭早朝宣伝 | | |



羽田空港機能強化 — 今年3月から年間3.9万回増便計画

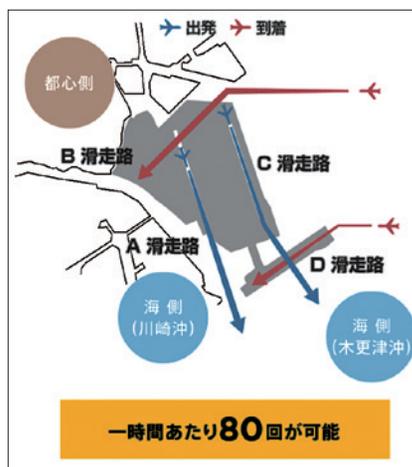
羽田空港増便は撤回を

「国際競争力強化」を理由に

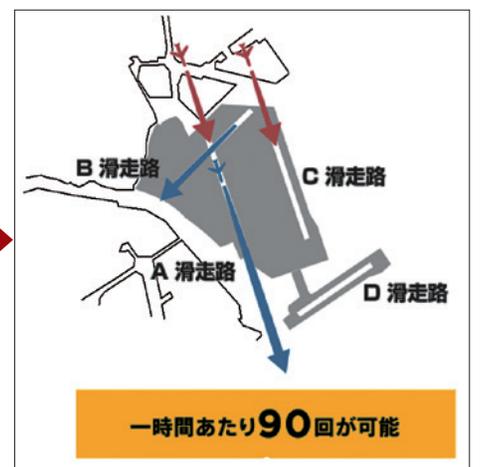
「羽田空港機能強化計画」では、羽田空港の「国際競争力強化」を理由に、今年3月29日から羽田空港の離発着の便数を、北風時は午前7時から11時半・午後3時から7時の間で1時間あたり80回から88回に増便し、南風時は午後3時から7時の間で1時間あたり80回から90回に増便するなど、年間44.7万回から48.6万回まで3.9万回増便できるよう飛行経路も変更する計画で、南風時は都心上空を低空で飛ぶため大問題となっていますが、1月30日から3月11日間の期間で、運用開始に向けた試験飛行として、実際の飛行機による確認が行われています。



2月1日から始まった実機飛行確認



一時間あたり80回が可能



一時間あたり90回が可能

国交省ホームページ資料より作成

更なる増便は、騒音、落下物、大気汚染、飛行機事故等で新たな影響

羽田空港は、飛行機による騒音被害や、飛行機事故の多発による不安から、1973年大田区議会で空港撤去決議が採択されて羽田空港沖合移転が決定され、その際 国と大田区は、大田区内上空を飛行しない（飛行機は）海から入って海に出る」という約束がされました。その約束を反故にするのが羽田空港機能強化計画です。

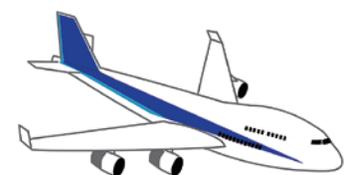
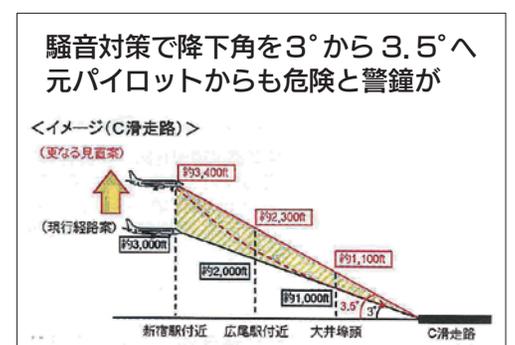
現在でもゴーアラウンド（着陸やり直し）による低空飛行、夜間早朝の国際便の増加等々から騒音被害があります。世界中で空港の事故は絶えない中、周辺住民は絶えず不安にさらされています。更なる増便は、騒音、落下物、大気汚染、飛行機事故の危険など区内に新たな影響を及ぼし、区民の不安は増すばかりです。

安全より経済を優先する計画

経済発展のため「羽田空港を日本経済の起爆剤」とし、世界中から人を呼び込むため国際便を増便するとしています。

しかし、国土交通省が追加対策で騒音を少しでも軽減するとして、飛行機の着陸時の降下角を現行の3度から3.5度に引き上げると打ち出しました。これに対して、元パイロットから降下角3.5度は、世界のほぼ全てのパイロットが経験したことのない急角度になる大問題ですと語っています。

また、川崎石油コンビナート地域上空での低空飛行は禁止となっていたのですが、国は、昨年12月16日、同地域上空の飛行制限を突然廃止しました。元コンビナート労働者は「飛行機が墜落したら石油コンビナートは確実に火の海になる」と危惧しています。



“飛行場だけあるまちにはならない” 区民の安心・安全を守るためにも撤回を！

大田区議会には羽田空港機能強化の増便計画について毎定例会ごとに陳情が多数提出されています。共産、立憲、緑、ネット、フェア民が採択を求めましたが、自民・公明等が不採択としています。その理由は「説明責任は国にある」、国に対して「引き続き丁寧な説明を求める」「安全対策は求めている」等々というものです。日本共産党大田区議団は、羽田空港の機能強化で安心、安全は守れないと、区や国に撤回を求めています。